

分類別熱中症対策事例

2.作業管理

⑤ 作業中の巡視

【概要】 定期的な水分及び塩分の摂取に係る確認を行うとともに、労働者の健康状態を確認し、熱中症を疑わせる兆候が表れた場合において速やかな作業の中断その他必要な措置を講ずること等を目的に、高温多湿作業場所での作業中は巡視を頻繁に行うこと。（出典 厚生労働省「職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について」）

■ 作業中の巡視

- 管理者が一定の時間に職場巡視する。その際に、声掛けを行い、体調を確認している。疾患（持病）のある人、外国人（中国、ベトナム、インドネシア）、高齢者、新人には特に注意している。従業員の声を聴いて現場改善を行っている。（建設業）
- 高層ビル建築現場では、高層階と低層階の現場の状況が大きく異なる場合があり、熱中症予防に必要な措置も異なることがあるので、いずれの階層も漏れなく確実に巡視するようにしている。（建設業）